



From
the People of Japan

「草の根・人間の安全保障無償資金協力」採択案件

(2020 年度)

障害児リハビリ施設福祉車両整備プロジェクト（1件）

→リハビリ施設に福祉車両を整備することで、障害児に対する適切な自立支援環境を整備するとともに、障害児を抱える家庭の負担を軽減する。

(1) ツェリノグラード地区アクモラ村障害児施設福祉車両整備計画（アクモラ州ツェリノグラード地区アクモラ村）

同地域の障害児施設に福祉車両を整備することで、施設に通う脳性まひ児の身体の安全を確保した送迎を可能にする。更に、各家庭における送迎の負担を減らすことで、保護者の労働時間を確保することができ、それに付随する経済生産性の向上も期待される。NGO「バティル」の支援を日常的に受けている、利用者 56 人とその保護者、更に、社会環境の充実により、今後、同団体の支援を必要とする半径約 150km 圏内に在住する障害児（約 250 人）と保護者が裨益する。

- ・ 供与限度額：49,250 米ドル
- ・ 被供与団体：NGO「バティル」
- ・ 署名：Bulatova Aigul Rakhimovna 会長

医療機材・医療施設整備プロジェクト（1件）

→地方都市における医療・教育施設の設備を更新することで、基礎医療や療養環境の地域格差是正に貢献する。

(2) フョドロフ地区病院医療機材整備計画（コスタナイ州フョドロフ地区フョドロフ村）

同病院は地区内唯一の産婦人科病院で年間約 250 人の新生児が生まれる。新生児の身体の安全を確保するために、インファントウォーマー・システム（開放型保育器）を整備する。フョドロフ地区病院で毎年生まれる約 150 人の新生児とその保護者、産婦人科医療スタッフ 15 人が直接裨益する。

- ・ 供与限度額：37,537 米ドル
- ・ 被供与団体：公共国家事業体コスタナイ州保健局「フョドロフ地区病院」
- ・ 署名：Syrghabaev Myltykkali Segizbaevich 院長

(了)